

J X T G 童話賞に込めた3つの願い

1. “たくさんの人に「心のふれあい」をお届けしたい” ～童話集「童話の花束」～



当社は、J X T G 童話賞受賞作品を一冊の童話集「童話の花束」としてまとめ、全国の教育機関や児童福祉施設、海外の日本語学校などに毎年寄贈しています。

1973年の発刊以来、これまで650編以上の作品が収められ、時代を反映した心のふれあいの移り変わりが読み取れます。

2. “子どもたちの夢を応援したい” ～次世代育成・支援～

「童話の花束」は、チャリティー販売を通じてJ X T Gグループの石油特約店やL Pガス特約店の皆様にお買い上げいただく他、J X T Gグループ各社や従業員も購入し、売上金はすべてJ X T G童話基金に繰り入れられます。同基金から、社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下、「全社協」）に寄付を行い、全社協が設立した「J X T G奨学助成制度」により、児童福祉施設などで暮らす子どもたちが、大学や専門学校進学時の入学支度金として活用されています。2017年は494名への助成を決定し、4,940万円の給付を行いました。2004年3月の助成制度創設以来の助成決定者数は5,266名、累計助成金額は5億1,585万円となっています。



3. “元気な森林づくりの力になりたい” ～環境保全～



「童話の花束」に使用する製紙原料には、J X T Gグループが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用されています。間伐などの森林整備により、木々が健全に生育することから、国内の二酸化炭素の吸収に貢献しています。J X T Gグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。

なお、過去の実賞作品やJ X T G童話賞、J X T G童話基金の詳細については、「童話の花束」ウェブサイト (<https://www.jxtg-group.co.jp/hanataba/>) でご覧ください。